

概要

- 産業活動や国民生活を支える物流の果たす役割はますます増大しているが、小・中学校等における教育課程でこうした物流の社会的意義について十分に伝わっているとは言いがたい。
- このため、物流に関する教育の更なる充実のため、業界団体とも連携しながら、関係省庁等に対して学習指導要領における物流関連記述の充実化に向けた働きかけを行っていく。

現行の学習指導要領における物流関連記述の概要

＜小学校社会科(平成23年改訂)＞

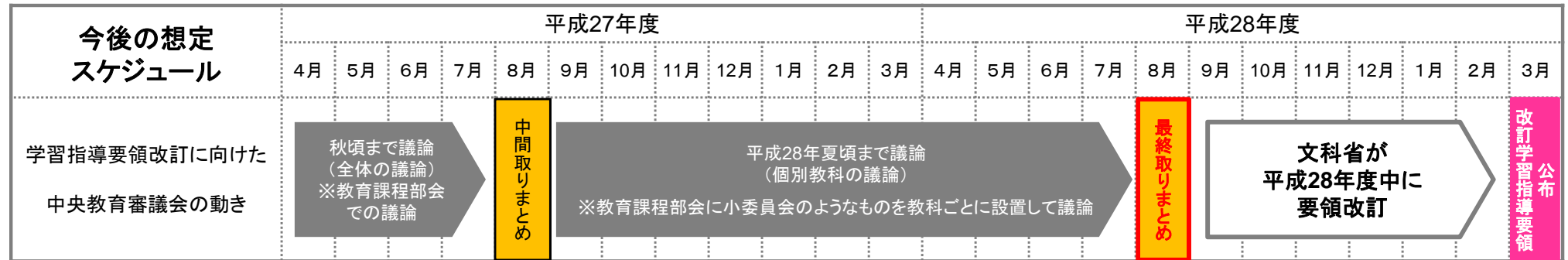
我が国の農業・水産業及び工業生産に関連して、「**生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き**」等について調査したり、国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにすることとされている。

＜中学校社会科 地理的分野(平成24年改訂)＞

世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色について、「世界的視野から**日本と世界との交通・通信網の発達の様子や物流を理解させる**とともに、国内の交通・通信網の整備状況を取り上げ、日本と世界の結び付きや国内各地の結び付きの特色を大観させる」こととされている。

物流について記述の充実化を図るべき内容

1. 宅配サービス等がますます日常生活に浸透していく中で、日用品から工業製品まであらゆる物の輸送を行うことで**国民の日常生活、経済活動を支えている物流の重要性が増している**こと
2. 物流機能が途絶した場合、我が国の経済活動・国民生活が維持できなくなること、特に、**災害時の支援物資輸送などの局面で物流機能の確保が非常に重要になる**こと



【平成29年度以降の動き】

	(1) 要領改訂を受けて教科書会社が教科書を作成	(2) 作成された教科書について文科省が教科書検定を実施	(3) 各学校において使用する教科書を選択	(4) 各学校において採択した教科書の使用を開始
小学校の教科書	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
中学校の教科書	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
高校の教科書	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度